

## 7月15日開催・第2回理事会での「防犯防災部」からのお願い事項

### 柏市も例外なく大きな災害が迫っています

去る6月2日から3日にかけて発生した大雨では、私たちの住む地域に近い手賀沼沿いが一部完全に水没し、近在住民には避難指示が発せられました。避難場所への避難指示は柏市メール配信サービスを通じて行われましたが、これを認知する住民は非常に限られました。自分の身を守るため、市のメール配信サービスへのご登録（広報しょうなん第42号でご案内済み）をお願いしたいところですが、中々これが進展しません。

せめてもの補完策として、YAHOO 防災アプリを市民の多くが手元の携帯端末に登録いただければ・・・と思います（YAHOO 防災アプリ登録のチラシを配布）

デジタルへの対応が苦手の高齢者には、「自分の命とどちらが大切ですか？」と呼び掛けましょう。

### 当地域には大病院がないため、災害時に医師や看護師が誰もいなくなります

何度もご案内の通り、当風早北部地域（旧沼南町）には総合病院、いわゆる災害時の対応を行う大規模医療施設や機関が存在していません。市のルールでは、災害発生後にこうした施設や機関に医師や看護師が招集されますので、災害時に当地域から医療対応ができる専門家が誰もいなくなる事態となります。不幸にして災害時に大怪我をすると、普段助かる命が助からなくなるのです（お隣の我孫子市には大きな病院がありますが、災害時は手賀大橋が一般車両通行制限となります）。

私どもは、災害時に怪我をしない運動を推進しています。是非、各地域で「シェイクアウト訓練」の実施を、全世帯に呼び掛けてください。これで、皆さんの災害時の負担も確実に減るはずです。（シェイクアウト訓練のチラシを配布）

### 今秋は是非防災訓練を各団体で実施してください

コロナ感染症がようやく下火となっている環境下で、是非、安否確認訓練、避難所への移動訓練を実施願います。柏市は関東大震災から100年を迎える今年、コロナ禍で中止となっている総合防災訓練の再開を9月下旬に予定していますが、その内容詳細は未だわからず、おそらく過去に実施した内容の上書き程度で終わる可能性があります。刻々と変化し、大きな犠牲者を毎年日本の各地で出している中、幸いにして大規模災害を経験していない柏市では、相変わらずの生ぬるい対応となっていることに、私個人として、43万市民の命を現在の市職員に委ねるのは非常にリスクが大きいと、正直感じています。

今月29日からの当会防犯防災部主催の防災活動意見交換会にて、具体的な訓練の内容を皆さんと共に協議して参りますので、各団体代表者のご出席を何卒お願いします。訓練を一切しない地域では災害時にそれなりの覚悟が必要です。（本会議のご案内通知を配布）

以上をご案内させていただきます

風早北部地域ふるさと協議会防犯防災部長 古山博之